

会議記録

附属機関の名称	熊谷市児童福祉審議会
開催日時	平成26年6月5日(木) 午後2時から午後4時20分まで
開催場所	熊谷市立商工会館 3階3号室
出席者	委員 12名 事務局 9名 計21名
傍聴人	なし
問い合わせ先 (所管課)	福祉部こども課(市役所本庁舎4階) TEL 048-524-1111(内線292)
内 容	<p>【議題】</p> <p>(1) 子ども・子育て支援事業計画における「教育・保育の提供区域の設定」について</p> <p>(2) 子ども・子育て支援事業計画における「量の見込みと確保方策」について</p> <p>(3) 子ども・子育て支援新制度において市が条例で定める基準案について</p> <p>【内容】</p> <p>(1) 子ども・子育て支援事業計画においては、教育・保育の提供区域を設定し、区域ごとに事業の必要量を算出することになっているが、市全域で1地区と設定するという、事務局案のとおり了承を得た。</p> <p>以下、委員からの主な意見。</p> <p>○市内全域に施設をバランスよく配置していくことを前提に、計画を策定する必要がある。</p> <p>○施設整備的には、市全域で1地区と設定するのがよいと思う。</p> <p>○合併したからこそ、区域を1つという考えもある。</p> <p>○市の規模からすると施設から遠い人もいるのではないか。</p> <p>○子育て世帯を助けるためには、区域は小さければ小さいほどよく、地域でのまとまりも必要なのではないかと思う。子供達がお互いに近所だという、つながりが大切であると感じる。</p> <p>(2) 子ども・子育て支援事業計画における「量の見込み」(必要利用定員数)を国の手引きに従い算出した結果、実態と開きがある数値が出たものがあるため、現状では提示できる数値が限られている。そのため、今後国から示される補正係数を参考に、地域の特性と現状を考慮しながら「確保方策」と合わせて検討していくこ</p>

	<p>とで、了承を得た。</p> <p>以下、委員からの主な意見。</p> <p>○学童保育の預かり対象年齢について、空き定員があれば入所できるということから一步踏み出して、4年生以上の入所についても検討してほしい。</p> <p>○量の見込みは、単に子供の数をベースに算出するのではなく、市としての将来設計を事業量の見込みの中に反映してほしい。</p> <p>○障害児を含めて、熊谷の子供という視点で計画を立ててほしい。働く母親の視点からのみではなく子育てに専念している母親の視点から、また、大人側からの視点のみではなく子供が生活しやすい視点から、そのような視点からも計画を策定してほしい。</p> <p>(3) 子ども・子育て支援新制度において市が条例で定める各基準について、事務局から説明を行った。</p> <p>○概ね、国の基準に従って定める予定である。</p>
--	---

* この会議記録は、熊谷市附属機関の会議の公開に関する要綱第10条に規定する様式第2号により、作成しています。